

二十歳を祝う式典

1月4日(木)、日高町中央公民館において、令和6年二十歳を祝う式典が執り行われました。式典には、対象者95名のうち75名が出席し、大人への第一歩を踏み出しました。

松本町長が式辞で「将来への不安も少なからずあるうかと思われませんが、明るい未来を切り拓くのは、いつの時代も若者の柔軟で斬新な『発想』と『行動力』です。皆さんが何事にも失敗を恐れず、情熱と希望をもって、一度しかない人生を心豊かに歩んでいただくことを願っております。」と激励。来賓の方々からもたくさんのお祝いの言葉が贈られました。

新成人を代表して、野上稀衣さんに記念品が贈呈されると、楠本彩乃さんが謝辞で「皆さま方から頂いたお祝いと励ましの言葉を大切にしていきたいと思えます。そして、愛情をそそいでくれた親や家族、いつも近くで見守って下さった地域社会の皆さま方に感謝し、社会のお役に立てるよう社会に貢献できる人間になることを、お誓い申し上げます。」と新成人としての決意を述べました。

式典後、中央公民館前にて、崎山香輔さんの合図で「門出」の花言葉があるスイートピーの種入りの風船を飛ばし、記念撮影をして新たな門出を祝いました。

希望を胸に

新たな一歩





※写真は裏表紙にも掲載しています。